

宗像市議会

議長 岡本 陽子 様

予算第1特別委員会

委員長 川内 亮

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第118号議案 令和7年度宗像市一般会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ20億532万3,000円を増額し、505億3,542万1,000円とする。また、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 歳入の主なもの

- (1) 当初の想定より増収が見込まれるため、市民税個人を3億円増額する。
- (2) 社会保障関係経費の増額に伴い、その財源として国庫支出金を3億189万6,000円、県支出金を2億3,079万7,000円増額する。
- (3) 補正予算による一般財源の不足を補うため財政調整基金から3億2,142万円繰り入れる。
また、市債の繰上償還を行うため減債基金から8億2,452万円繰り入れる。

2 歳出の主なもの

- (1) 公共交通整備事業費の増額（5,284万9,000円）
ふれあいバスの運行事業者変更に伴い決済システムを構築する。また、バスの老朽化に伴い中古のバス車両4台を購入する。購入した車両は、ふれあいバス及びBRT方式の新規路線に活用する。
- (2) 宗像ユリックス管理運営費の増額（714万6,000円）
全天候型こども広場「Mu-Mo」のオープンに伴い、周辺の環境整備とにぎわいづくりのため、花壇を整備する。
- (3) 農業振興事業費の増額（8,203万6,000円）
本年8月の大雨で被害を受けた農業用機械や施設の復旧等に要する経費のほか、強い農業構造の確立に資する機械の導入に係る経費の一部を補助する。災害復旧に関しては、国県の実綱に基づき手続きを進めており、要望があったものについては、全て対応している。
- (4) 防災対策事業費の増額（1,360万円）
次の出水期に備える防災対策として、住宅や店舗の止水板の購入・設置、浸水対策工事等の実施に対する補助制度を創設する。補助率は対象経費の2分の1以内で、上限は50万円を予定している。また、各地区コミュニティ・センターへ土のうステーションを設置するための費用を計上する。
- (5) 市民スポーツ活動推進事業費の増額（325万2,000円）

中学校運動部活動の地域展開を進めるに当たり、夜間の照明機器など必要な備品等の購入を行う。既に認定地域クラブが活動しているが、主に運動場に照明設備がない河東、日の里、玄海中学校での使用を想定している。

3 繰越明許費

年度内に事業の完了が見込めず、翌年度に予算を繰り越す必要がある6件を追加する。

4 債務負担行為

次年度以降に予算を必要とするものの、今年度中の契約などで、予算の担保が必要となる事項など46件を追加する。

5 地方債

今回の補正予算において実施する事業の財源として、地方債を2件追加する。また、当初予定していた地方債の限度額を3件変更する。

【意見】

(賛成意見)

- ・防災対策事業費について、8月の豪雨災害から速やかに対応していただいたことを高く評価する。また、部活動の地域展開について、認定地域クラブの立ち上げが進んでない部活では、保護者会とも連携が取れるように検討してほしい。
- ・8月の豪雨災害による農業被害への復旧支援に感謝する。公共交通について、BRTの住民への周知をしっかりと行ってほしい。また、学校の増級については、宗像市全体で教育の環境をどう整えていくかという観点からも検討してほしい。
- ・災害対応として止水板の補助など速やかな対応に感謝する。公共交通について、市民が使いやすいシステムを考えてほしい。特別職の報酬等の引上げについては、賛成できない。

(反対意見)

- ・止水板や防水シャッター設置への補助など豪雨災害対策の強化や第3子以降の保育料の無償化、職員の給与の引上げを高く評価するが、特別職の報酬等の引上げについては、市民の理解が得られないため反対する。
- ・議員報酬等の引上げについては、自律的に決定すべきであるため反対する。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり可決した。